

# 仙台市議会だより

sendai city assembly

第161号

平成25年

第2回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

2013年(平成25年)8月発行

発行 仙台市議会  
編集 仙台市議会広報委員会  
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



## 仙台市総合防災訓練

6月12日の「市民防災の日」に「百万市民の総合力による防災の実現」をテーマに開催されました。大震災を教訓にした自主防災・避難所運営訓練や仙台東部道路に設置された避難階段を使った津波避難訓練などが行われました。

## 震災復興関連の補正予算を含む18件の議案を可決 本会議の一般質問に一問一答方式を導入

6/25	6/21	6/18 ・19・20	6/14 ・17	6/10
本会議	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・常任委員会 ・委員長報告 ・討論 ・議案の採決 ・意見書の採決 など	・議案の審査	・一般質問 20人	・代表質疑 6人	・人事案件 ・議案の提案理由説明

### 定例会会期日程

### 市民のみなさまへ

#### 第2回定例会

今定例会では、復興や保育対策に係る経費等を含む補正予算案や条例案など19件の議案を審議しました。

代表質疑では、これまでの市長の市政運営への評価や津波浸水区域への新たな支援策、保育所待機児童対策などについて真剣な質疑を重ねました。

また一般質問では、平成27年に本市で開催される国連防災世界会議への取り組みや、地下鉄東西線開業の見通し、整備が進む復興公営住宅の課題など、市政全般について幅広い議論が展開されました。

最終日には、介護保険制度の運営基盤の強化等を国に求める件など、2件の意見書を全会一致で可決しました。

#### 一問一答方式がスタート

本会議の一問一答方式については、第2回および第4回定例会の一般質問への導入に向け、準備を進めてきたところですが、今定例会から導入を開始し、8人の議員がこの方式で質問しました。

従来の一括質問・一括答弁方式は、すべての質問を体系的に述べることににより、体系的な質問を行うことができません。一方、一問一答方式では、質問とその答弁が一つずつ行われることにより、議論が分かりやすく、より深まることが期待されます。今後は、議員がそれぞれの長を生かしながら質問を行うことで、議会のより一層の活性化に努めてまいります。

仙台市議会  
議長 佐藤 正昭  
副議長 木村 勝好

### 会派別所属議員 平成25年6月25日現在

自由民主党・仙台	復興仙台	日本共産党仙台市議団
西澤啓文	鈴木勇治	嵯峨サタ子
斎藤和彦	岡部恒司	花木則彰
加藤和彦	庄司充	ふるくぼ和子
菅原美香	橋本啓一	ふなやま由美
やしろ	跡部 薫	高見のり子
鈴木繁雄	佐々木 道	すげの直子
伊藤新治郎	渡辺 博	庄司あかり
赤間次彦	柿沼敏万	
佐藤正昭	高橋次男	
野田正謙		
田村崇良		
菊地崇良		
市民フォーラム仙台	公明党仙台市議団	社民党仙台市議団
日下富士夫	嶋中昭一	小山勇朗
安孫子雅浩	鈴木貴志	大槻正俊
岡本あき子	鎌田広康	石川建治
小野寺健	小野寺利裕	相沢和紀
渡辺公一	小田島久美子	ひぐちのりこ
木村勝好	佐藤和子	みなみの党・みなみの仙台
佐藤わか子	佐々木真由美	柳橋邦彦
加藤けんいち		早坂あつし
渡辺敬信		小野寺淳一
		及川英樹
		自由民主党
		大泉鉄之助

### 主な議案の紹介

#### 平成25年度補正予算

#### ○一般会計(主な補正項目)

- 津波被災者の住宅再建の促進に必要な経費を助成するため7億9千万円を追加するもの
- 保育士等の処遇改善への助成および待機児童解消に向けた私立保育所の整備に必要な経費4億722万7千円を追加するもの
- 「仙台市役所緊急節電設備計画」に基づき、市有施設の省電力化への取り組みを推進するために必要な経費2億円を追加するもの
- 津波浸水区域からの移転先に必要な道路および上下水道を整備するため、3億円を計上するもの

#### ○条例など

#### ○暴力団排除条例

市民の安全で平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するため、暴力団排除に  
関し必要な事項を定めるもの

# 自由民主党・仙台

齋藤 範夫 議員

市長としての4年間の自己評価

**問** 市長は就任してまもなく4年となるが、選挙時に市民と約束した諸課題や行革、震災対応への取り組みに対する自己評価を伺う。

**答** 今任期を振り返ると東日本大震災という重大な事態に対し、復興を最優先にした市政運営となったが、復興財源確保のための職員給与削減や子育て・高齢者支援

施策の充実に努め、前回選挙時の約束はおおむね達成できたこと認識している。今後も、市民とともに市政運営に力を尽くしたい。

**問** 市長のリーダーシップによる待機児童ゼロの実現

**答** 本市の待機児童数は平成25年4月時点で533人と前年度より増加している。待機児童数ゼロを実現した横浜市のように、トップが決断をし、政策の優先順位を上げれば前進するはずだ。市長としての所見を伺う。

**問** 待機児童対策は本市の子育て支援策の重要な柱であり、認可保育所の定員拡充のほか、さまざまな施策を推進してきた。早期の待機児童解消に向けて決意を新たに、平成25・26年度を緊急集中取り組み期間と位置づけ、待機児童対策を強力に推進したい。その他の主な質疑項目

○泉中央地区の都市計画と悪化する交通環境への改善策

○津波被災地への独自支援の充実に東北六魂祭の開催継続を

○泉岳自然ふれあい館の火災

○宅地被害復旧の進捗状況

○電気料金値上げに対応した市有施設の緊急節電対策

○市長の2期目の退職金



待機児童ゼロの実現に向けた取り組みを(市内の保育所の様子)

# 復興仙台

橋本 啓一 議員

新しい発想力による今後のまちづくりへの市長の決意

**問** 震災を経た今、復興の中で実感した「市民力」「地域力」を生かし、これまでの考え方にこだわらない都市像を目指すべきだ。106万市民とともに歩む市長としてこれからの決意を伺う。

**答** 復旧復興の困難な中でも、スポーツや音楽が市民の心を勇気づけ、癒してくれたと実感している。

この文化を愛しスポーツを楽しむ風土を大きな財産とし、感動と元気があふれる「新生・仙台」の実現に向け、力を注ぎたい。

**問** 新市立病院における精神科医療の充実について

**答** 近年、増加するうつ病や認知症等、精神疾患に対する医療の重要性が高まっている。新市立病院の特色である身体合併症精神科救急医療の実施に向け、医師の確保や体制整備を急ぎ、市民の期待に応えるべきだがかがが。

**問** 新市立病院では、新たに身体疾患と精神疾患を併せ持つ救急患者への医療体制を整備することとした。実施に向けて東北大学や他の精神科医療機関との連携に向けた検討を進めており、市民の健康と安心の確保に努めていきたい。



精神科医療の充実が期待される新市立病院(平成26年夏開院予定)

# 市民フォーラム 根仙

日下 富士夫 議員

市長の市政運営の評価と次期に向けての決意

**問** 他都市等との連携や国への迅速な要望活動等、震災の復旧・復興への取り組みは高く評価している。人材育成や公共施設の現状把握など課題も多いが、行財政改革を止めることなく、強さとしなやかさで市民の期待に応えてほしい。次期に向けての決意を伺う。

**答** 市役所の業務遂行能力向上

に力を注ぐとともに、さらなる行革を進め、被災地のトップランナーとして復興を最優先としながら「新生・仙台」へ向けての新たなまちづくりを取り組んでいく。

**問** 津波水害区域における新たな新たな支援制度等について

**答** 本市では、復興交付金が配分され、津波浸水区域への新たな支援制度を創設することなどが、制度の狙いは何か。また、当該地域における課題認識とまちづくりの取り組みについて伺う。

**問** 当該制度は、津波浸水区域全体における現地建替えや移転による住宅再建を支援するものである。また、地域コミュニティの再構築や住居の点在による防犯上の問題等の課題があることは認識しており、専門家の派遣や地元の



交通機能の充実強化が求められる泉中央地区

# 公明党

菊地 昭一 議員

国連防災世界会議の成功に向けて

**問** 国連防災世界会議の成功には、復興事業を加速させ、世界に「復興のモデルケース」ともいえる成果を示す必要がある。官民一体となった復興支援に向けた今後の取り組みを伺う。

**答** 本市を訪れた方々に震災から力強く立ち直っている仙台の元気な姿を見て日本人の底力を感じ

てもらえるよう、国にさらなる支援充実を求め、復興の加速化を図っていく。また、世界の防災・減災の参考となるよう他の被災地と連携し、震災の経験や復興状況を世界に向けて発信していきたい。

**問** 復興公営住宅入居の際の敷金減免を

**答** 来年の春から復興公営住宅の入居が本格化する。仮設住宅から復興公営住宅に入居する際には家賃が発生し、さらに敷金も必要になる。被災者の負担軽減を図るためにも、他自治体で実施している敷金減免を検討すべき。

**問** 一部の自治体では復興公営住宅の入居時に敷金を減免し、退去時に修繕費用を別途徴収する方法等を行っている。本市でも入居される方々の事情を聞き、入居



国連防災世界会議の会場となる新コンベンション施設(平成26年12月竣工予定)

# 代表質疑

## 日本共産党

ふるくぼ 和子 議員

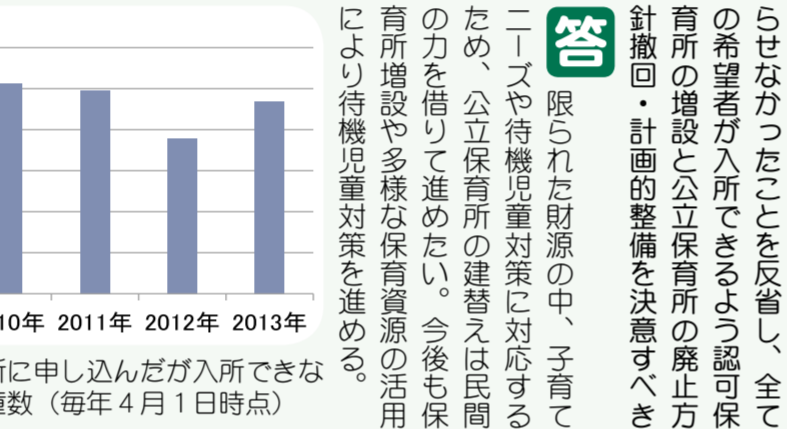
**問** 医療費・介護利用料の被災者免除制度の打ち切りで、市民の命の危険が現実となっている。市長自ららが決断をし、予算措置の上、制度復活を行うべき。

**答** 被災された方々の健康支援に関しては、保健師・看護師等による家庭訪問、交流会の実施など、きめ細かな対応を行っていきたい。

免除措置継続については、財源確保の点から断念したが、今後も国に全額支援を強く求めたい。

**問** 住宅再建に際し、借入れができない被災者にとっては市の独自支援策は役に立たない。直接支援に軸足を移し、他都市で実施している実費補助に踏み出すべき。

**答** 防災集団移転における支援制度も利子補給であることで、宅地被害は財源の面から追加支援が困難であることから、市全体のバランスを考慮し、新たな支援策も利子補給とした。



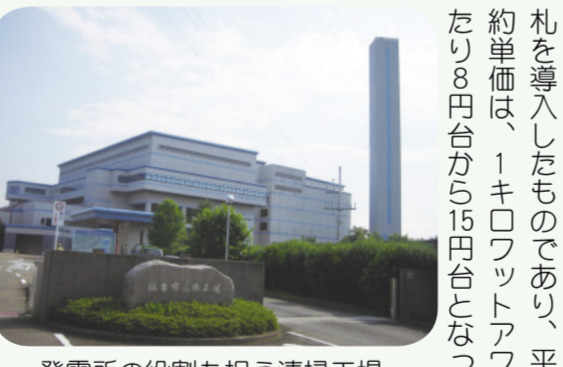
認可保育所に申し込んだが入所できなかった児童数(毎年4月1日時点)

## 社民党

ひぐち のりこ 議員

**問** 清掃工場の電力売り払いについては今年度から指名競争入札を導入し、売り払い収入が増額となったが、従来契約との単価比と導入の経過等について伺う。

**答** 当初は少なかつた特定規模電気事業者の増加や燃料価格の高騰による発電単価の上昇等の社会経済情勢の変化を踏まえ、競争入



発電所の役割も担う清掃工場(鶴岡工場)

**問** 私立保育所の保育士等の処遇改善に要する補正予算について、1人当たりの平均改善額と職能防除の効果等を伺う。また、保育士の確保策として、資格を持ちながら

就労していない「潜在保育士」の再就職を促すため、本市ではオンラインセミナーを実施しているが、さらに研修や相談等を行うことで再就職を後押ししてはならないか。

**答** 1人当たり改善額は年間約8万円で、一定の処遇改善が図られ、離職防止につながると考えている。また、保育士確保は県内市町村の共通課題であり、今年度県に開設された保育人材バンクで保育士と保育所のマッチングや研修が行われることから、多くの潜在保育士の再就職に期待している。

**問** 環境マネジメント推進には職場の実態把握と適切な対応を

**答** 特定健診受診率向上の取り組み

**問** 国連防災世界会議で情報発信を

**答** Oパス停留所周辺駐停車両対策

**問** 都市公園バリアフリーへの対応

## 常任委員会審議の概要

## 市民教育委員会

## 経済環境委員会

平成25年6月21日開催

付託された4議案のうち、第74号議案は賛成多数で、第75号議案、第76号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、議第77号は賛成少数で本会議で否決すべきものと決定しました。

○津波被災者への住宅再建費用の助成について

付託された6議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○「仙台市暴力団排除条例」に

○条例制定の効果伺う。

○条例で公共工事等の入札や契約からの暴力団排除を明文化し、たことでの排除徹底が進むと考える。

付託された2議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○市有施設の省エネ化に伴う利用者の健康等への配慮と、環境教育等、啓発の充実

○緊急雇用創出事業における適正な雇用環境の確保

## 総務財政委員会

## 健康福祉委員会

## 都市整備建設委員会

付託された4議案のうち、第74号議案は賛成多数で、第75号議案、第76号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、議第77号は賛成少数で本会議で否決すべきものと決定しました。

○津波被災者への住宅再建費用の助成について

付託された2議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○泉中央駅前地区の地区計画変更の目的と、交通渋滞の解消に向けた交通環境改善対策

○津波浸水予測区域居住者の移転先に係る道路整備等の支援策

付託された2議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○緊急雇用創出事業における適正な雇用環境の確保

**意見書**

第3号 介護保険制度の運営基盤の強化と適正な制度確立を求める件

第4号 「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める件

**可決した意見書は、国会および関係行政に提出しました。**

**議員表彰**

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

○特別表彰(議員在職30年以上)

佐々木 両道

○一般表彰(議員在職10年以上)

齋藤 範夫

橋本 啓一

ひなやま 由美

**市議会ホームページで議会中継をしています**

市議会ホームページでは、本会議や予算・決算等審査特別委員会等のライブ中継と録画中継を行っています。

また、会議日程や会議結果、会議録、市議会ライブなどのさまざまな市議会の情報も掲載しております。

ライブ中継については、市役所本庁舎市民のへや、各区役所・総合支所1階ロビーにおいても行っております。放映時間は午後1時から5時まで(。)

ぜひ、ご覧ください。

**用語解説**

●国連防災世界会議(注1)

1面4段、2面4段・6段、3面6段、4面1段・2段・7段

●国際的な防災戦略を議論する国連主催の会議。第3回会議は平成27年3月に仙台で開催される。

●マイナンバー制度(注2)

4面1段・2段

●国民一人一人に番号を割り振り行政手続きに活用する国の制度。

●ALT(注3) 4面2段

●小・中・高等学校に配置している外国人の外国語指導助手。

●保育(注4)

4面2段

●保護者のニーズを伺い保育サービスの情報提供を行う保育相談員(注5)

4面3段

●パソコン等を利用して気軽に心の状態をチェックするeのシステム。

市議会ホームページアドレス <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

仙台市議会

# 一般質問

## 自由民主党・仙台

菊地 崇良 議員

○国の復興対応への問題提起  
○集団移転先造成工事の進捗  
○復興公営住宅の適切な供給数  
○仙台港の整備を促進し、市への管理権移管も検討せよ  
○南海地震等を想定し仙台港に物流・防災面の補完機能を  
○市地下鉄で導入するIC乗車券の機能拡張を図るべき  
○国連防災世界会議の開催決定を機に危機管理組織再編を

やしろ 美香 議員

ICT(情報通信技術)を活用し、多様な情報データを市の施策に反映させる庁内体制のあり方について伺う。

庁内の情報部門と各部署が連携を図り、より効果的な情報化推進に取り組むたい。

マイナンバー制度の活用  
○いじめ防止条例の早期制定を  
○子ども虐待防止対策の充実  
○食育と学校給食の多様化

田村 稔 議員

津波被災地域の新たな住宅再建支援は、利子補給から一歩踏み込んだ支援が必要と思うがいかがか。

制度拡充は困難だが、個別の事情を丁寧に伺い、相談支援や情報提供を行いたい。

医療から介護へのスムーズな移行への体制整備を図れ

市による特別支援学校整備  
○地下鉄東西線の利便性向上

市民フォーラム仙台

岡本 あき子 議員

喫緊の課題である保育所の待機児童解消策を伺う。  
保育基盤の拡大に向けたプランの策定と、きめ細やかな相談体制の充実を図る。

復興仙台

渡辺 博 議員

暴力団排除条例の適切な運用と効果的な啓発を  
○青少年健全育成の取り組み  
○市民協働の力を仙台らしく活かす新たな街づくりを  
○地方分権への着実な対応  
○マイナンバー制度の導入に向けて全庁的な取り組みを  
○道路の安全・安心の確保  
○男女共同参画の環境整備として身近な女子トイレ増設を

跡部 薫 議員

育ちと学びを大切にしたい子ども主体の支援体制を確立し待機児童ゼロを目指す。教育・保育の量的拡大と併せ、質の確保・向上に努めながら環境整備を図りたい。相談機能を重視した保育コンシエールジユの導入を  
○3歳未満児専用保育所の整備  
○幼児教育の重要性と幼稚園・保育所・小学校の連携強化

岡部 恒司 議員

国連防災世界会議は地下鉄東西線をアピールする絶好の機会だ。会場への移動手段としても最適であり、開催に合わせて開業すべき。

佐藤 わか子 議員

○せんだい保育室制度の存続を  
○地域防災リーダー講習に女性やNPOの受講確保を  
○復興公営住宅入居資格と入居後の見守り体制を明確に  
○地域主権改革と新しい公共

国連防災世界会議を機に市内に多言語サインの整備を。全庁的な検討の場を設け、官民一体で取り組みたい。

アーチルの相談対応の迅速化  
○時代のニーズに合わせ障害者福祉センター機能の拡充を  
○A-LTは独自採用数を増やし本市の要望に沿った人材を

条例改正も含めた広瀬川の景観を守る取り組みを

鈴木 広康 議員

総合防災訓練で実施した津波避難訓練等の成果は。地域と行政の連携の下多くの参加者が避難経路や距離感等を体感できたこと考える。  
通学路の定期点検を継続して実施すべき。  
今後関係機関との連携により実施し、通学路の安全確保に努めていきたい。  
資産マネジメントのあり方

復興公営住宅の募集は児童の通学優先や保証人の条件緩和、市外在住者への配慮を。  
通学や本市に住民登録のない方の優先確保は困難だが、保証人緩和は個別の事情により柔軟に対応したい。  
「こころの体温計」を活用した被災者の心のケアを。他都市の事例を調査し導入の可能性を検討したい。

佐藤 和子 議員

児童館利用者の安全確保の点検強化と早急な対策を。運営団体等との連携により一層の安全確保に努める。集会所も公設公管理浄化槽事業の対象にすべき。他都市の事例等も踏まえ、今後検討していきたい。  
母子専用避難所の設置を  
○女性地域防災リーダー育成  
○認可外保育施設と地域連携

日本共産党

すげの 直子 議員

市の決定方針を押し切ることが市長の言う「市民協働」「市民との対話」なのか。

市民の基本に市民との対話を据えてきた。今後も丁寧な市政運営に努めたい。  
○市長は医療費・介護利用料免除継続を要望する市民と直接会って声を聞くべき  
○地域住民との対話に配慮し復興公営住宅は低層とせよ  
被災者のニーズに合わせ、十分な戸数の復興公営住宅を整備すべき。  
今は入居意向調査中であり、今後丁寧な状況を把握し、対応を検討したい。  
民間借り上げ仮設住宅に居住する被災者に対し、継続的な家賃補助を実施すべき。  
仮設住宅は一時的なものであり継続は考えていない。

社 民 党

相沢 和紀 議員

新たな住宅再建支援の対象は新築における利子補給のみだが、修繕も含め自己資金による再建も対象とすべき。  
宅地被害や防災集団移転事業とのバランスなど本市の実情を踏まえたものである。  
○地域バランスを考慮した復興公営住宅の整備を求める  
○市立病院跡地を市役所庁舎の移転建設用地とする提案

小山 勇朗 議員

子どもの貧困は喫緊の課題。本市の認識と対策を伺う。重要課題と受け止めており、保護者の経済的自立への支援や子ども学習支援など各種施策を推進したい。  
安倍首相の経済政策への所見  
○消費増税の影響と対策  
○本市のケースワーカー数は社会福祉法で定める標準以下。早急に人員確保すべき。

みんなの党・みんなの仙台

及川 英樹 議員

アルコール問題について

震災後の実態と認識  
・特定健診を活用した依存症予備検出テスト(オーディット)の実施  
・急性中毒への適切な対応  
・福岡県に倣い、県警等と連携し飲酒運転者に更生プログラムを導入  
・教育現場での適切な指導  
・家族との連携と啓発活動

小野寺 淳一 議員

震災時の仮設住宅の仕様は全国一律のため追加工事が生じた。地域特性に即した仕様を国に発信すべき。  
○り災証明の判定基準を明確にし、津波被害等実情に即した判定区分を整備すべき  
○加入率向上のために「町内会」を親しみやすいタウンサークル等に変更しては

柳橋 邦彦 議員

○本市の存在感、発信力の無さに「げん」として。多様な媒体を活用し発信力の強化を。  
○観光基本条例など「新生・仙台」の背骨となる方針を定める施策を推進せよ  
○駅前ペDESTリアンデッキ

大泉 鉄之助 議員

国連防災世界会議は開催の成功のみならず、施設の誘致や経済活性化へつなげ、市民の利益に寄与することが重要である。市長の決意を伺う。  
一過性に終わらせず、本市が飛躍する契機と捉え、確かな成果が市民にもたらされるよう取り組んでまいりたい。  
○寄付による基金創設や寄贈により博物館収蔵品の充実を

自由民主党

大泉 鉄之助 議員

の延伸や地下街形成を官民一体で進めるべき

大泉 鉄之助 議員

国連防災世界会議は開催の成功のみならず、施設の誘致や経済活性化へつなげ、市民の利益に寄与することが重要である。市長の決意を伺う。  
一過性に終わらせず、本市が飛躍する契機と捉え、確かな成果が市民にもたらされるよう取り組んでまいりたい。  
○寄付による基金創設や寄贈により博物館収蔵品の充実を

自由民主党

大泉 鉄之助 議員

の延伸や地下街形成を官民一体で進めるべき

大泉 鉄之助 議員

国連防災世界会議は開催の成功のみならず、施設の誘致や経済活性化へつなげ、市民の利益に寄与することが重要である。市長の決意を伺う。  
一過性に終わらせず、本市が飛躍する契機と捉え、確かな成果が市民にもたらされるよう取り組んでまいりたい。  
○寄付による基金創設や寄贈により博物館収蔵品の充実を

自由民主党

大泉 鉄之助 議員

の延伸や地下街形成を官民一体で進めるべき

大泉 鉄之助 議員

国連防災世界会議は開催の成功のみならず、施設の誘致や経済活性化へつなげ、市民の利益に寄与することが重要である。市長の決意を伺う。  
一過性に終わらせず、本市が飛躍する契機と捉え、確かな成果が市民にもたらされるよう取り組んでまいりたい。  
○寄付による基金創設や寄贈により博物館収蔵品の充実を

自由民主党

## 会派別議案賛否一覧表

議案 [ ]内は議案番号	会派名 ( )内は所属議員数										採決結果
	自由民主党	みんなの党・みんなの仙台	社民党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	公明党仙台市議団	復興仙台	市民フォーラム仙台	自由民主党・仙台	自由民主党	みんなの党・みんなの仙台	
補予算案 一般会計(第1号)[74] 特別会計 ・公債管理(第1号)[75] 企業会計 ・下水道事業(第1号)[76]・高速鉄道事業(第1号)[77] ・水道事業(第1号)[78]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定案 造成宅地滑動崩落防止施設の保全に関する条例[79] 暴力団排除条例[80]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 手数料条例[81]、市営住宅条例[82]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[83]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 和解に関する件[84]、町の区域を新たに画する件[85]、町の区域の変更に関する件[86]、字の区域の変更に関する件[87]、市道路線の認定及び廃止に関する件[88] 人事委員会の委員の選任に関する件[89]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 議第5号 平成23年東北地方太平洋沖地震による被災住宅再建費助成条例 意見書第3号 介護保険制度の運営基盤の強化と適正な制度確立を求める件 意見書第4号 「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める件	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対

平成25年第3回定例会は、9月3日(火)に開会の予定です。